



**2020年1月撮影。
当院外来化学室での一場面です。
当院と常滑市民病院の看護師・薬剤師の
皆さんで多くを共有していました。**

■2020. 6. 9

2015年から知多半島医療圏内の医療施設の看護職員対象に「知多半島医療圏がん看護連携会」を開催して、がん分野に特化した知識や技術の質向上のための企画を実施しています。その中で、2019年に「化学療法室相互訪問」の企画を立ち上げました。互いの施設の化学療法室へ出向き相互チェックをして質の向上につなげる目的です。

病院間相互のピアレビューは自己チェックと訪問調査によるチェックに区分して実施しました。2019年で実際には当院と常滑市民病院との相互訪問が実現しました。看護師と薬剤師で、チェック内容を相互で共有し、適宜改善等を検討できる環境が可能となりました。

現在、新型コロナウイルス対応の影響から職員間移動も充分に出来ない現状ではありますが2020年も継続して実施していきたいと思っています。そして、1施設でも多くの施設間の相互訪問が実現し、当医療圏内の医療の質向上に向けた一助としていきたいと思っています。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。